

喜界町



議会だより

165号

平成28年10月10日発行



発行／喜界町議会 編集／議会広報編集委員会
〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746番地
TEL:0997(65)1115・FAX兼用



任期満了
(平成24年11月1日～平成28年10月31日)

主
な
内
容

平成27年度決算審査特別委員長報告 2

常任委員会報告 5

一般質問に2名が登壇 7

諸般の報告 11

編集後記 12

決算審査特別委員会

総額で 112億2千600万円

平成27年度一般会計・特別会計決算を認定



決算審査特別委員長
青山 春男 議員

委員会は、本会議に提出された各会計歳入歳出決算書、主要施策の成果に関する調書及び監査意見書を参考に、八月三十一日と九月一日の二日間、執行部の出席を求め、詳細なる説明を聴取する中で、適正に予算が執行されているか、期待した行政効果が得られているか、更には、今後、改善を要する点は何かなどに主眼を置き、慎重に審査を行いました。

■ 一般会計

一般会計歳入決算額は、六十七億四千四百三十万七千円で、予算現額に対する収入割合は八十五・六％です。

平成二十八年第三回定例会は、八月二十九日から九月八日までの十二日間の会期で開催しました。

初日は、一般質問に二名の議員が登壇。平成二十八年度一般会計補正予算特別会計補正予算については各常任委員会に付託し、報酬及び費用弁償条例については、原案可決しました。財政の健全化に関する法律に基づく財政健全化判断比率・資金不足比率について報告があり、平成二十七年喜界町一般会計及び特別会計の決算認定

平成二十七年決算審査特別委員長報告

については、決算審査特別委員会に付託しました。

最終本会議には、平成二十八年度一般会計補正予算特別会計補正予算について原案可決し、決算審査特別委員会に付託された平成二十七年一般会計及び特別会計の決算については、八月三十一日九月二日の二日間審査の結果全会一致で認定すべきものと決定しました。

歳出決算額は六十五億七千七百三十二万七千円で、予算現額に対する執行割合は八十三・五％です。歳入歳出差引額は、一億六千六百九十八万円、翌年度に繰り越すべき財源七百十三万七千円を差し引いた実質収支額は、九千五百八十四万三千円です。このうち四千八百万円を地方自治法第二百三十三條の二の規定により財政調整基金に繰り入れています。

【歳入関係の主な意見について】

自主財源が十四・四％、依存財源が八十五・六％と国・県等に依存する財政構造ですが、本町の数少ない自主財源の中で大きな割合を占める町税は、四億九千五百五十二万一千円で、決算に占める割合は、七・三％となっています。なお、収入未済額は、三千八百五十六万九千円で、前年度より八百五十九万三千円の減額となっています。また、不納欠損処分したものは、五百

六十二万九千円で、前年度より百十万円の増額となっています。

町税は歳入において最も有効な自主財源であり、義務として納入すべき公的負担です。従って、滞納を生じていると、期限までに納税した善良なる町民との間に大きな不公平が生じることになる。不納欠損処分した内容については、地方税法上の消滅時効に関わる処分であるが、時効中断の手續きを適時に行うなど、安易に時効成立による不納欠損処分を行うことのないように努め、公平性を確保し、町民の納付意欲を阻害しないよう十分留意されたい。また、新規滞納者を抑制し、滞納分の一層の圧縮に努めていただきたい。

なお、町税及びその他の収入についても、定期的かつ継続的な徴収体制を維持することで成果を得ている事例もあることから、今後も未納分の解消に向けて、納入者の個別事情に応じたきめ細かい収納対策に加え、徴収関係課

の連携による効率的な収納体制を確保し、徴収率向上に向けた更なる取り組みに努めていただきたい。

平成二十七年年度の借入残高は、六十三億八千二十四千円となっております。将来世代への負担が過度なものとならないよう、事業効果においても現役世代とのバランスを考慮しながら、持続可能な財政運営の見通しのもと、防災関連施設のような事業の選択と有利な町債の活用に十分配慮願うものです。

今後の財政運営については、本町の主要な自主財源である町税等についても大きな伸びは期待できず、加えて、国の補助金・交付金等についても国の施策により状況が変わることも考えられ、決して楽観できるものではないと考えます。引き続き危機感を持って取り組んでいただきたい。

【歳出の主なもの、質疑・意見について】

支出額を前年度と比較すると二億七千六百三十三万五千円の減額となっております。性質別構成比では、義務的経費が三十五・八％、投資的経費が二十三・〇％と大きな構成比を示しています。この様な歳出の状況の中、経常収支比率が八十五・八％とやや改善されていますが、引き続き高い水準にある状況です。

※少子高齢化に伴う扶助費等の義務的経費の増大、特別会計への繰出金、最終処分場の建設、屠畜場、火葬場、



平成27年度公営住宅整備事業(湾宮戸団地D棟) 総額 91,584千円



ゆらいどころ荒木サロン(集落活性化事業) 事業費 55万円

クリーンセンター等の生活関連施設の維持管理費等が不安要素として山積していることから引き続き自主財源の確保に努めるとともに、各種施策においては基金を効率的に活用し、公共施設整備基金により年次的に各種施設の整備を行い、新規事業の導入については、

予算編成時において内容を十分精査し、今後もバランスのとれた財政運営を行い、財政効率をより一層高めていただきたい。

※総務費自治振興費の集落活性化事業の取り組み状況については、従来型に加え独自の取り組みも現れてきているようです。今後も集落の積極的な取り組みを引き出し、継続的に取り組むことを要望する。

※遊休農地の解消に向けては、国県が積極的に働きかける中、本町の独自の工夫した取り組みで解決に向けていただきたい。

※農産物加工センター関係で、そら豆の醤油・味噌については地域おこし協力隊を交え、価格設定、市場調査の段階まで進んでいる。今後、販売に向けては、安定的な販路の確保とともにアレルギーフリーの健康食品としての存在価値を前面に出した新たな展開にも期待する。

※新規事業として、ふるさと寄付金を活用した小中学生に対する入学祝金制度、喜界高校への支援策としての教育振興負担金等が実施されています。地方創生関連で本年度も更に事業が追加されていますが、細かな施策を集中させて継続することで成果が現れると思います。

※学校再編により小学校二校、中学校一校となった教育環境の整備についても検証し、教育現場の要望も取り入れながら積極的に実施していただきたい。

人材育成については、これからの本

(単位：千円)

■ 平成27年度各会計決算状況

会計別	歳入	歳出	差引残高 (形式収支額)	翌年へ 繰り越すべき財源	実質収支額
	収入済額	支出済額			
一般会計	6,744,307	6,577,327	166,980	71,137	95,843
特別会計	国民健康保険	1,365,833	1,365,053	780	780
	直診勘定	21,037	21,037	0	0
	介護保険	916,557	914,490	2,067	2,067
	後期高齢者医療	94,325	93,320	1,005	1,005
	老人福祉施設	386,630	372,492	14,138	14,138
	屠畜場	2,574	2,574	0	0
	簡易水道	1,635,650	1,634,780	870	870
	農業集落排水	53,061	53,061	0	0
公共下水道	191,868	191,868	0	0	
合計	11,411,842	11,226,002	185,840	71,137	114,703

町を位置づける最も重要な施策のひとつであり、創意工夫による本町独自の更なる取り組みを期待します。

特別会計

国民健康保険特別会計決算

県全体での新制度への移行が見えていますが、国保加入者の相互扶助の精神で成り立つ国保運営のバランスを保つためにも、引き続き国保税の収納率向上対策と、併せて特定健診の受診率向上等、医療費抑制に向けた取り組みを望む。

直営診療施設勘定

一年間をとおして、各月四日間の二回を基本として診療を行い、延べ一千三名の診察を実施しています。今後も町民のニーズに応えた診療体制を維持し、町民の健康と安心を確保するよう望む。

介護保険特別会計

保険給付費が歳出決算額の九十三%を占めることから地域包括支援センターを中心にサービス調整を行い、限られた資源を有効に活用し、独居老人・老人世帯の見守りや今後増加が予想される認知症対策に努めていただきたい。

後期高齢者医療特別会計

人口の二十八%占める後期高齢者ですが、ますます進む高齢化に伴い、

医療費増大が見込まれ、今後の財政運営への影響が懸念されます。継続的な徴収にもかかわらず、時効により不納欠損も生じています。

各保険料についても厳しい状況ですが、引き続ききめ細かな徴収対策を望むところです。

老人福祉施設事業特別会計

事業努力により不用額を捻出し、次年度の財源に充てるなど運営状況は良好であると思われ、介護職員の確保についても処遇改善加算等により改善しつつある状況ですが、課題となっている今後の方向性についても事業の内容等を含め十分なサービスが行き届いているか、今一度検証し、慎重な対応を望む。

屠畜場事業特別会計

建屋や資機材の老朽化が進んでいる状況ですが、本年九月一日から実施されている新制度による利用件数の動向も注視しながら施設の維持管理に必要な措置を講じ、衛生管理と食肉処理の適正化に努めるようお願いいたします。

簡易水道事業特別会計

統合事業の西部地区の事業完了が待たれる中ですが、引き続き予算を確保し、供用開始まで確実に事業を積み上げていただき、硬度低減という課題を克服しながら、将来にわたって安全な水を安定供給するため、老朽管の更新、



西部浄水場施設工事費(電気・機械整備含む)
総額 576,225千円

施設の維持・保守管理を徹底し、設備の延命化を図っていただきたい。

また、給水停止措置等の未納者対策についても生活困窮者への行政的配慮を行いながらも公平性の観点から引き続き実施し、使用料についても健全運営を考慮し、検討を進めることを要望する。

農業集落排水事業特別会計

加入戸数については、全体的に低位に推移し、健全な運営加入戸数に至っていないのが現状です。施設の維持補修費も今後益々増加することが予想されますので、調査計画策定業務の結果を踏まえ、日頃から徹底した施設の管理に努め、機械・設備の延命化を図りながら、一般会計からの繰り入れの抑制と経費節減を図り、健全運営に努めていただきたい。

公共下水道事業特別会計

総事業費五十億円の事業効果を確立するためにも、引き続き加入促進及び施設の維持について、最善の努力をお願いする。

最後に、潜在力を生かした自らによる地域づくりが求められている中で、安定的な行政サービスを維持しながらも創意工夫によって新たなものを生み出すことが必要となります。地方創生総合戦略も本格的に動き出し、新たな取り組みも行われている。地域資源の積極的な活用などにより、経済性及び効率性、さらには将来負担の観点からも不断に検証し、真に必要な高い施策への投資の重点化を図るよう望む。



審査する決算審査特別委員会

常任委員会報告

総務文教委員会



総務文教常任委員長
外内 千里 議員

平成28年度 一般会計予算は 1億617万円を追加して 59億5,962万円に

■ 一般会計

【歳入の主なもの】

増額は地方交付税七千六百七十七万四千円、総務費国庫補助金でマイナンバーセキュリティ関係の社会保障・税番号制度システム整備費補助金の七十二万円、地方創生加速化交付金七百四十六万七千円です。

教育費国庫委託金は、学校施設防災力強化プロジェクト委託金五百二十万四千円で、土砂・急傾斜警戒区域となっているのぞみ幼稚園と早町小学校に対し、避難時の対応マニュアル等防災減災の手法を検討するものと、防災関連施設給食センターの避難時対応マニュアルを作成するものです。繰越金は確定に伴うもので四千二百八十四万三千円です。

【歳出の主なもの】

増額は、総務費一般管理費の町長交際費の二十万円、財産管理費で庁舎内消防設備の修繕費で百万円、電算管理費で資産管理台帳システム委託料百七十一万円、地域おこし協力隊三名分の

パソコン購入費で三十三万七千円、ふるさと寄付金事業の消耗品費で二十五万円です。

地方創生関連事業では、プロポーザル方式での観光戦略策定委託料三百六十六万七千円、加工センターを中心に行うフリーズドライ等で、地域資源商品開発委託料として百万円、町民大学などの開催等を行うまちづくり人材育成委託料百五十万円、東京農大との提携で行う農産物調査研究委託金百三十万円です。

税務総務費軽自動車検査情報手数料は十万円、農林水産業費で水産基盤機能保全事業負担金五十六万円、荒木漁港船揚場改修に伴う工事請負費の百五十万円は設計委託料への組み換えで来年度に事業実施するものです。

商工費では鹿兒島で行われる天文館特産品市場への出店補助で三十万円、観光費の三百五万一千円は、空港高倉の白アリ対策や中里遊歩道のトイレ修繕、ガーデンゴルフ場のエアコン購入費等です。

教育総務費の事務局費は、学校施設防災力強化プロジェクト事業に伴うものと旅費百六十九万円は、秋田県へ先進地視察等で、委託料二百四十万円は建て替えによる給食センターの解体設計委託料です。

学校管理費で修繕料百五十万円は赤連の教員住宅壁の塗り替えます。社会教育費の主なもの文化財保護費の財産購入費、七十七万二千円で手

久津久地区の製鉄跡地を保存するための土地購入費です。

保健体育総務費の修繕料二百三十四万五千円は総合グラウンド関係等の修繕料です。

県大会選手出場負担金三十六万円は軟式野球、ソフトテニス、相撲等二十九名の奄体協への負担金、県スポーツ少年団交換大会補助金七十三万八千円は、サッカー、バレーボール競技の県大会出場に伴い増額するものです。

【質疑の主なもの】

(1) 町長の交際費二十万円の増額についての質疑に、地方創生における東京農大との協定などがあり増額した。
(2) ふるさと寄付金事業の増額についての質疑に、返礼品の三分類を五分に拡充し返礼割合を寄付金の四割を



審査する総務文教委員会

充てることとした。

(3) 軽自動車検査情報手数料についての質疑に、軽自動車の車両税の改正にともない三ランクに分けられるための情報収集の手数料です。

(4) 水産基盤機能保全事業負担金の割合と負担先の質疑に、早町港の補修のため県へ四百四十一万円の三分の〇、四を負担するものです。

(5) 土木費の賃金百四万円についての質疑に、水産物の輸送補助金の報告書作成のための新たな事務備人料です。

(6) 手久津久地区の土地購入面積と単価についての質疑に面積は二千五百七十一㎡で、単価は三百円です。

(7) 県大会出場補助金、県スポーツ大会補助についての質疑に、県大会については奄体協への負担金が一名で三万円、県スポーツ大会は九割補助となっている。

産業福祉委員会



産業福祉常任委員長
安田 英次郎 議員

■一般会計

【歳入の主なものについて】

民生費国庫補助金の社会福祉費補助金一千六百万八千円の増額は、臨時福祉給付金事業補助金二千六百名×三千円で七百八十万円、臨時福祉給付金

事業費補助金(障害者・遺族年金受給者)百九十八名×三万円で五百九十四万円、臨時福祉給付金事務費補助金二百三十二万八千円です。

放課後児童健全育成事業費等補助金・地域子育て支援拠点事業補助金等を四百五十七万九千円減額し子ども・子育て支援交付金を四百五十七万八千円増額して組み替える。

民生費県補助金の児童福祉費補助金百三十一万一千円増額は、国庫補助金同様に地域子ども・子育て支援交付金に四百二十五万九千円増額するものです。

総務費補助金百二十五万増額は、個人番号カード交付事業補助金です。

【歳出の主なもの】

民生費の負担金、補助金及び交付金一千四百八十六万四千円の増額は、臨時福祉給付金のシステム改修費百二十二万四千円、臨時福祉給付金(非課税世帯)七百八十万円、臨時福祉給付金(遺族年金・障害者年金受給者)五百九十四万円で、

保健福祉費の母子保健事業費百七十七万増額は、不妊治療者が増えたために旅費と治療費助成金を増額するものです。

健康増進事業費七十万一千円増額は、自殺防止対策でメンタルヘルス講演の講師謝金八万二千円、検診用封筒六十一万九千円です。

児童福祉費の児童福祉総務費五百八十二万二千円の増額は、保育料システム改修費十七万三千円、過年度精算分

五百六十四万九千円です。

塵芥処理費七百六十万円の増額は、クリンセンターのダストコンベアの修繕料六百八十万と電源装置の修繕料八十万円です。

農林水産業費の農業振興費四十二万二千円の増額は旅費で地下ダム関係の要望に関するものです。

農地費二千二百四十五万二千円の増額は、おもなもので需用費三百六十万円委託料七百五十万円は、大朝戸地区畑地の土地調査委託等、原材料費百四十万円は、農道の補修等です。

公有財産購入費六十万円は、手久津久のガジユマル前二千㎡の土地購入費です。

水環境総務費の委託料六十三万円増額は町管理の浄化槽が当初十八カ所から二十一カ所に増えたためです。浄化槽設置整備補助金三百二十四千円の増額は、当初七基を計画していたが十二基に増えたためです。

■特別会計

平成二十八年度喜界町介護保険特別会計補正予算について

今回の補正は、制度改正により地域支援事業への組み替えがおもなものです。

【歳入について】

国庫支出金の現年度介護給付費負担金百万円減額、国庫補助金の調整交付金五十七万四千円減額、地域支援事業交付金百三十九万八千円増額、支払基

金交付金の現年度介護給付費交付金百四十万円減額、地域支援事業費交付金百五十四万円増額、県負担金の現年介護給付費負担金五十二万五千円減額、県補助金の地域支援交付金七十万円増額、繰入金の介護給付費繰入金六十二万五千円減額、地域支援事業費繰入金七十万円増額で繰越金は、四十九万六千円の増額です。

【歳出について】

保険給付費の介護サービス等諸費五百万円減額、地域支援事業費の介護予防・生活支援サービス事業費五百二十万円増額は、講師謝金二十万円、役員費三万円、負担金補助及び交付金四百九十七万円は組み替えによるものです。一般介護予防事業費の一般介護予防事業費三十万円増額は、介護予防教室利用者が五名から十名に増えたことによるものです。



審査する産業福祉委員会

町政のここが聞きたい

いっぱん質問

第3回定例会で2名の議員が町政全般にわたり一般質問を行いました。質問と答弁を要約して紹介いたします。



質問する
生駒 弘 議員

質問
町民生活の
安心・安全について

質問
農道、町道、県道の中央線や停止線などの白線が消えたままになっている理由について。

答弁 建設課長

平成二十六年度には、湾港池治線、湾港から喜界高校の路線、平成二十七年年度には早町伊実久線を実施し、平成二十八年度には湾上嘉鉄線を実施する予定であります。平成二十九年度以降も計画的に実施していく予定です。

なお、道路維持関係のセンターラインとか側線の整備については、補助事業がなく町単独費ですので、年間一ないし二路線の整備を行っています。

質問
交通事故防止のための対応策について。

答弁 建設課長

交通事故防止のための一時停止線などの規制線は、県の公安委員会、警察と協議して整備していきたいと考えています。

質問

荒木から中里間の歩道に防犯灯を設置出来ないか。

答弁 総務課長

質問の道路については、県道であり、県との協議が必要になります。道路の照明としての街路灯については、交通量の状況などにより県が設置する場合がありますが、交通量の少ない御指摘の場所については、自治体での対応となるかと思っています。防犯灯については、交通量などの調査を行いながら、安全面それから防犯面で問題がないかを検討して、設置については検討します。

質問
スポーツ振興について

質問
県体、郡体選手への助成金について。

答弁 教育長

本町の助成金は、大島地区大会が五十%、大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会が、喜界町立小中学校運動選手旅費補助規程に基づき同じく五十%補助、指導者は無償で指導しているの、百%補助しています。

県民体育大会については、出場補助金はないが、奄美群島市町村体育協会へ一人当たり三万円の出場負担金を納めた後、各加盟競技団体から出場に要する旅費や強化費が支給されます。

次に、郡内市町村の対応ですが、大島地区大会と大島地区スポーツ少年団競技別交歓大会については、五十%補助が一市四町、県民体育大会については、負担金のみが六町です。最も多い数値となっています。以上のことから、各種大会への出場助成金は、現時

点では妥当であると考えています。

質問
農業振興について

質問
土地改良区の運営・経営状況について。

答弁 農業振興課長

土地改良区の役割は、地下ダムの関連施設及び畑地かんがい施設の維持管理を主に、受益地へ水の配分を平等適正に行い、水利用による計画的な農業ができるよう支援することです。喜界町土地改良区は平成八年四月一日に設立、二十年が経過し、平成十二年八月からかん水を開始し、平成二十四年度には喜界町で約千六百七十七ヘクタールの圃場へ散水が可能になっています。運営に関しては、総代三十五名、理事十名、監事三名、それから職員四名等で運営しています。経営状況については、収支状況、維持管理調整基金の積立金、財政調整基金積立金等についても健全になされていると判断しています。



質問する
内外 千里 議員

質問 病害虫対策について

近年の病害虫による作物全般の被害状況について。また、どのような対策と効果が得られているのか。

答弁 農業振興課長

サトウキビではメイチュウ類、ゴマはヨトウムシ類、トウガラシは白絹病、細菌斑点病、柑橘ではゴマダラカミキリムシの被害がある状況です。サトウキビのメイチュウ類や、柑橘のゴマダラカミキリムシの被害現状については、薬剤の購入助成や薬剤の設置を既に実施し、被害も軽減され、効果が上がっていますが、マイナー作物のトウガラシや農薬不使用栽培のゴマについては、対象農薬がない、または使用できない状況です。現在、県へ、マイナー作物についての薬剤登録を要望してい

るところです。

質問

かつて整備されていた誘殺灯の効果はどうであったのか。また再整備の必要性について。

答弁 農業振興課長

誘殺灯はサトウキビの害虫であるアオトウガネの捕獲及び誘殺で効果があり導入されました。再整備の必要性については、維持管理、修繕に多大な費用がかかるため、現在防除機の導入や、あわせて効果的な薬剤での防除の推進が必要であると考えています。

質問

農業後継者育成と奨学金制度について

質問

学校現場で農業への関心を高める取り組みをする必要があると思うが、現状と見解について。

答弁 教育長

喜界町の農業については、教育委員会が三、四年生の社会科、わたしたちの喜界町と

いう副読本を作成して全児童に配付して、学習に役立てています。内容として、農家の仕事、かつての米づくりから、

キビづくりや菊、ゴマ、トマト、マンゴーづくりなどに変わってきたこと。機械化、農事暦、生産から販売までの流れ、製糖工場のことなどが、カラー写真やグラフ、表などを使ってわかりやすく説明されています。

また、児童生徒は体験学習として、地域の農家の指導を受けながら、サトウキビ、ゴマ、トマトの栽培などに取り組んだり、実際に畑、農園、畜舎見学等も行っております。中学校では、農家での職場体験をし、「にーねー先生」で農家の方の講話を聞いて農業への関心や理解を深める努力をしています。中学校の進路学習でも、農業について学習をしています。

今後、地域人材の活用や役場農業振興課、大島支庁喜界事務所等、関係機関と連携しながら、農業後継者育成を視野に入れて教育を充実させていきたいと考えています

質問

農業後継者育成への奨学金資金等、教育支援策を検討する考えはないか。

答弁 町長

農業後継者育成への奨学金等については、現在、月額一万円の支援策がありますが、平成二十三年以降申請はない状況です。今後は農業高校、農業大学校等への進学助成について、医療従事者と同様の措置、島に帰郷して農業に従事することを条件に何らかの措置を検討してまいります。この際には、これまで鹿児島市にて運営されていた「一般財団法人喜界育成会」の活用も検討することとします。

質問

長島町では「ぶり奨学金制度」があるが、本町でも金融機関との連携で制度活用を検討しては。

答弁 町長

長島町の奨学金資金、いわゆる「ぶり奨学金制度」は民間金融機関と連携した給付型奨学金であり、喜界町にお

いては、一般財団法人喜界育成会の事務所が今年七月一日に鹿児島市から喜界町教育委員会へ変更になり、評議員・理事・監事全ての役職が喜界町在住者の新たな体制で運用を開始しています。現在の喜界育英会奨学金は償還型ですが、今後は、給付型奨学金の開設・運用についても検討していきたいと考えています。

質問

しまかんにいって

質問

これまでの活用の取り組みと今後の対応について。

答弁 農業振興課長

鹿児島大学との共同研究でも各品種ごとに機能性が明らかになり、本機能性を活用した施策を加工センターで模索していましたが、今回鹿児島本土のお茶メーカー「下堂園」が、花良治みかんやシークワータの果皮を使用したフレーバーティーの製造に着手し、十一月には製品販売を開始すると聞いています。

質問

本町独自の資源であるしみかんの保護対策は検討できないのか。

答弁 町長

在来柑橘の商標登録や町の文化財としての指定を含め、これから検討していきたいと考えています。

質問

休養村管理センターについて

質問

先日開催された長寿会総会の折、トイレの混雑が指摘されています。いろいろなイベントの開催が行われる会場であり、増設を望む声があるが検討できないのか。

答弁 農業振興課長

実際の対応として、千人規模で行いました町主催のしま興し祭りでは仮設トイレを設置したところです。

休養村管理センターは昭和五十三年に建設され、今年で三十八年を経過しています。老朽化が進み、シロアリなど

の傷みで、昨年から改修工事

を行っています。トイレ増設については、計画はありません。今後、長寿会等大きな行事があるときには、そのときそのときで対応していきたいと思えます。

質問

幼稚園・保育所について

質問

幼稚園・保育所の定員と、待機児童の現状と、今後の対応について。

答弁 保健福祉課長

幼稚園・保育園の現体制での受け入れ可能人員については、あゆみ幼稚園が百四十名、入園児八十三名。のぞみ幼稚園が三十五名、現在の入園児十三名。ひまわり第一保育園が九十名、入園児九十七名。ひまわり第二保育園が三十名、入園児三十名です。

八月一日現在、待機児童は、ひまわり第一保育園が十五名、ひまわり第二保育園が三名となっています。待機児童が出ている要因としては、保育士不足と幼稚園入園対象年齢で

も保育園への入園を選択する

保護者の増加が上げられます。保育士不足への対応としては、広報紙を初めチラシやホームページでの募集、また、有資格者への直接交渉など、保育士確保に向け取り組んでいるところです。

幼稚園入園対象児の幼稚園への移行については、アンケートの実施等で保護者のニーズを把握しつつ、教育委員会とも連携を図りながら待機児童の解消に向けて取り組んでいるところです。

質問

第一保育所の建て替えの必要性について、今後の幼稚園・保育所の運営のあり方について。

答弁 町長

少子高齢化人口減少社会の進行に加え、共働き世帯や核家族の増加等、社会状況が変化する中で、子育て世代への支援は大変重要であると認識しています。社会状況の変化を受け、制度が改正され、預かり保育や延長保育を導入するなど、幼稚園と保育園の機能

能は似通ったものになりつつ

あります。認定こども園は教育施設である幼稚園と児童福祉施設である保育園の制度を残した上で、幼保一体的な運営をする総合施設です。本町では、公立である幼稚園と民間経営の保育園をすぐに一体化することは、現時点では難しい問題があると思いますが、老朽化が進む施設の建てかえも含めまして、今後、国の制度も見つつ、将来の検討課題と考えています。

今後も、幼稚園と保育園それぞれの機能を生かし、小学校入学へとスムーズな移行ができるよう、教育委員会や保育事業者と連携しながら、保護者のニーズに合わせた保育環境を整え、就学前保育の充実と待機児童ゼロを目指してまいります。

備が必要ではないか。

答弁 建設課長

道路整備は、現在、社会資本整備総合交付金事業で行っています。また、幹線以外の道路については、地方改善施設整備費補助金と町単独費で整備を行っているところです。この道路については、一部区間で防潮堤の施設を使用していることから、現在鹿児島県が整備中の新しい防潮堤の進捗状況を見ながら、整備計画を検討していきたいと考えています。

質問

道路整備について

質問

志戸桶集落周辺道路は、畑かん事業、集落排水事業に伴う事業により整備されていますが、防潮堤に沿う道路の整

意見書の審査結果

提出者	件名	審査結果
生駒 弘	チーム学校推進法の早期制定を求める意見書	採 択
生駒 弘	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書	採 択
生駒 弘	無年金者対策の推進を求める意見書	採 択

公益に関わる意見書案が議員から提出され審議の結果、全会一致で可決され、関係行政庁に提出し、その実現を要請しました。

議会のうごき（9月～11月）

- 9月8日 第三回喜界町議会定例会（閉会）
- 9月11日 東京喜界会第六十九回総会・芸能祭（東京）議長
- 9月11日 喜界高校体育大会
- 9月18日 喜界中学校体育大会
- 9月25日 喜界町長・議員選挙
- 10月2日 喜界小・早町小運動会
- 10月9日 第五十四回町民体育祭
- 10月16日 あゆみ・のぞみ幼稚園運動会
- 10月25日 鹿児島県戦没者追悼式（鹿児島）議長
- 10月27日 常任委員長研修会（鹿児島）安田・外内議員
- 11月1日 臨時議会予定
- 11月9日～10日 町村議会議長全国大会（東京）議長
- 11月15日～17日 離島議長行政調査（石垣市）議長

諸般の報告

議長
中島 智一

※七月二十八日 東京農業大学において、「喜界町と東京農業大学との包括連携協定」の締結式がありました。東京農業大学から高野克己学長、豊原秀和名誉教授、父親が本町出身の世田谷区議長の上島義盛氏外七名、喜界町から町長、議長、企画観光課担当室長農業振興課職員が参加し、高野学長と川島町長との間で協定書に調印がなされました。

東京農業大学との連携により、町づくりに大学の持つ専門知識や研究成果を生かすこと、施策に対する学術的な裏付けを得ることができ、学生や教授による交流人口の拡大、創造的なアイデアや行動力も期待が高まると思います。

※七月三十日 参議院議員会館において平成二十八年度防衛省全国情報施設協議会が開催されました。会長挨拶の後、来賓挨拶に国会議員の細田博之氏他三名の挨拶がありました。「リーダーサイトの重要性について」と題し防衛省情報本部長宮川氏による講演がありました。その後、議案一号～六号までの審査が行われ、平成二十七年年度決算、二十八年度予算について全会一致で採決されました。

※八月四日 鹿児島市民ホールにおいて、平成二十八年度市町村政研修会が行われました。本庁から議員十二名が参加しました。船倉町村会会長の挨拶の後「過去の震災に学ぶ今後の地震対策」と題し名古屋大学減災連携研究センター教授の福和伸夫氏、「競わない地方創生～人口急減の真実」と題し地域再生プランナーの久繁哲之介氏の講演がありました。

※八月十日 平成二十八年度奄美・やんばる広域圏交流推進協議会が沖縄県名桜大学にて開催されました。平成二十七年年度決算監査報告、平成二十八年度予算等の説明がありました。その後名桜大学教授照屋理氏による、鹿児島～奄美～ヤンバルへと言葉や唄などの伝わり方について講演がありました。

次回
定例会

次の議会は、12月上旬を予定しています。

午前 9:30 皆様の傍聴をお待ちしています。

●お問い合わせ先 65-1115

4名の議員が勇退



中島 智一 議長
4期 16年

青山 春男 副議長
8期 32年

安岡 歡眞 議員
9期 36年

乾 和夫 議員
4期 16年

長きにわたり町議会議員として町発展のため活躍されました。

編集後記

台風シーズンと言われる八月、九月。今年は被害もなく豊作になることを祈るばかりである。

さて、今回の議会は平成二十七年度の決算審査が主な内容であった。町の財政のすべてが審査の対象であるだけに精根を込めて取組んだ。中でも主要施策の成果説明書は読むたびに味が増し、同時に問題点も明らかになり審査を深めることができた。次年度の予算計上にこの決算の結果がどう生かされるか、予算審査の視点にしていきたい。特に今回の決算審査は議員としての資質が問われる機会でもあった。議員は行政のチェック機関である。広い視野と世の中の動きにアンテナを張り日々精進して参りたい。

この広報紙が出る頃、新メンバーが出そう。今回、勇退される先輩議員が四名。四年間共に議会活動が出来たことは私にとって財産である。長年、喜界町の行政に携わってきた先輩の皆様へ感謝と敬意を表します。

文 責 峰山 恵喜光
議会広報委員会
委員長 生駒 弘
副委員長 峰山 恵喜光
委員 外内 千里
委員 榮 哲治
委員 谷本 泰男
委員 河上 弘仁